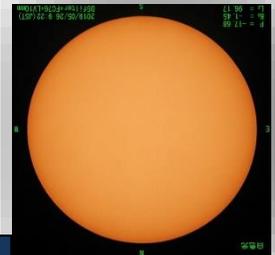


神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第157号

令和元年6月11日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

右の写真は5月に青少年センター屋上で撮影した太陽です。最近はこの映像のように、黒点がほとんど見られないことがよくあります。現在の太陽活動サイクルは2008年末に始まり2014年に極大を迎え、その後は現在まで太陽黒点やフレア爆発が減少しています。太陽の活動周期は約11年ですが、時として乱れることがあります。地球にとって太陽の活動の影響は大きく、継続的な太陽観測は大事です。



太陽光球(白色光)
5月26日9:22
P=-17.68
B₀=-1.45
L₀=96.17

協議会が主催する令和最初の活動 子ども科学探検隊 開始

3コースから選んで探検 3年連続受講者も!

子ども科学探検隊ではご協力いただいた協議会の会員の科学館、博物館、動物園、大学、研究機関を3つのグループに分けて、子どもたちが興味のあるコースの探検に向かいます。普段は見られないバックヤード見学や実験などの体験を通じて、さらに興味・関心が高まります。

5月26日(土)11時開講式(於 青少年センター(紅葉ヶ丘))で、説明や諸注意を行い、各自昼食をすませた後、午後は3コースに別れて探検が始まりました。対象は小学校4年生から6年生です。4年生のときに参加してとても面白かったから、3年間連続して受講した子もいました。

Aコース 三菱みなとみらい技術館

ダジック アース



デジタル四次元地球儀に投影された、地球や惑星は圧巻

深海水圧 再現実験



風船や発泡スチロールは、高水圧ではどうなるのかな？
実験の後は科学館の海の展示が大人気

Bコース 横浜市立野毛山動物園

キリン舎に潜入



近くで大きさを実感
角は2本だとばかり思っていたけど...



動物の飼育・ 管理の勉強

餌の違いは？



動物たちの健康管理が
とても大事です

Cコース 日本郵船氷川丸

船員による案内・説明



ここには掲載しませんが、立ち入り禁止エリアにも潜入させてもらえました

船員の仕事や
船の働きなど

氷川丸船長による講義

船の歴史や構造について→



←ロープワーク
実習

自然観察会 ～天神島に行こう～

5月18日（土）横須賀市の天神島で、磯の生物の採集や地層の観察を行いました。全員が親子で参加していて、予想以上に夢中になっているお子さんと一緒に水につかったり、生物を捕まえたり、とても楽しそうなお父さん・お母さんの笑顔もとても素敵でした。講師は協議会員の横須賀自然・人文博物館の学芸員でした。

午前 天神島臨海自然教育園で磯の生物・地層の観察

膝まで水につかって、磯の生物を観察・採集



最初はおっかなびっくりだった子どもたちも、「シロミウシいたよ！」「あつとデ」「この魚なに？」とどんどん夢中になっていきました。

三浦半島の特徴的地層を観察



海底でできた地層が、斜めになって地上にあります。地層中にある火山豆石などを初めて知る人もいました。

午後 天神島ビジターセンターで講義と採集した生物の観察

講師による講義と、午前中に採集した生物をじっくり観察



子ども達の興味を引く
面白くわかりやすいお話



親子で一緒に観察

事務局から

このニュースは神奈川県青少年科学体験活動協議会の会員に送付しています。異動等で以前の担当者へ送付されている場合は、事務局にご連絡いただくとともに、各団体内で引継ぎをしていただくと助かります。引き続き会員名簿を更新中ですので「(令和元)平成31年度協議会会員情報記入用紙」を未提出の場合は、事務局までメール添付で送付してください。(事務局：千葉、伴、熊切、山田)

